

# Ⅶ 社会教育（生涯学習）

## 1 社会教育施策の重点

現代社会の情報化、国際化、少子高齢化、価値観等の急速な変化に対応するためには、自ら課題を見つけ考える力、柔軟な思考力、身に付けた知識や技能を活用して課題を解決する力及び他者との関係を築く力に加え、豊かな人間性等を含む総合的な「知」が必要とされる。また、自立した個人やコミュニティ（地域社会）の形成及び持続可能な社会の構築への要請等を踏まえ、生涯学習振興の必要性が高まっている。

このため、平成 28 年 3 月に策定した「三島市生涯学習推進プラン」に基づいた総合的な生涯学習の推進を図り、多様な学習機会や情報の提供（各種講座・イベントの充実、人材の活用、家庭教育の支援）、学習環境の整備・充実（生涯学習センターや地域に根ざした公民館の活用）及び社

会教育活動の活性化（公民館利用団体や社会教育関係団体の育成・支援）に取り組んでいく。

また、将来の三島を担っていく者として、豊かな感性と幅広い視野を持った青少年の健全育成を推進していくため、青少年活動の推進（青少年活動への支援、青少年リーダーの養成及び青少年指導者の育成）、青少年を育む地域づくり（健やかな成長のための環境づくりの推進、相談体制の充実、青少年育成環境の整備及び学校・家庭・地域の連携協力推進）及び青少年活動の場の整備（箱根の里の有効活用、活動の機会と場の提供等）に取り組んでいく。

## 2 委員会・団体の構成

### (1) 各委員会等の構成

令和 2 年 4 月 1 日現在

名称	構成人員	任期	主たる事業
社会教育委員	15	2	社会教育事業の審議
青少年問題協議会	31	2	青少年の指導、育成、保護に関する総合施策の樹立、調査審議
青少年相談室運営懇話会	10	2	青少年相談室の運営に関する協議
補導指導員	154	2	青少年補導、青少年健全育成
公民館運営審議会	11	2	公民館事業の審議・検討
箱根の里運営協議会	15	2	箱根の里活動全般審議
三島市民生涯学習センター運営委員会	10	2	三島市民生涯学習センターの円滑な運営及び生涯学習の推進に関する調査審議

### (2) 三島市社会教育委員 任期 令和元年 12 月 1 日～令和 3 年 11 月 30 日(令和 2 年 4 月 1 日現在)

役職	氏名	選出区分	役職	氏名	選出区分
委員長	高橋 徹司	家庭教育	委員	榎山 好実	社会教育団体
副委員長	永倉 えり子	学識経験者	委員	大澤 秀子	社会教育団体
委員	足立 博道	学識経験者	委員	大房 正征	学識経験者
委員	後藤 素行	家庭教育	委員	石井 芽久美	学識経験者
委員	本持 信慈	学識経験者	委員	眞野 忠徳	学校教育関係者
委員	渡邊 靖乃	家庭教育	委員	飯塚 道代	社会教育団体
委員	前田 磨	学識経験者	委員	吉田 美和子	社会教育団体
委員	小藪 余志美	学識経験者			

### 3 令和元年度の重点事業

#### (1) 生涯学習・社会教育関係

- ア 生涯学習情報の充実
- イ 各種講座・イベントの充実
- ウ 社会教育関係団体などの育成・支援
- エ 地域連携活動の支援
- オ 市民生涯学習センターなど社会教育施設の機能の充実

#### (2) 青少年健全育成関係

- ア 「少年の船」「ジュニアリーダー研修」「高校生リーダー研修」等の実施を通じた青少年リーダーの育成
- イ 青少年健全育成会との連携による市民総ぐるみでの青少年の育成と非行化防止
- ウ 青少年相談室の充実と相談・補導事業の強化
- エ 児童センターでの講座やイベントなど、児童を対象とした事業の開催
- オ 学校、地域、家庭の連携体制の構築、協働の推進

#### (3) 女性団体支援関係

- ア 女性相互の情報交換、交流と社会参加の促進支援
- イ 女性団体の自立促進支援

### 4 生涯学習事業

#### (1) 生涯学習情報の提供

- ア インターネットによる学習情報、行事予定、行政情報、施設案内等の情報の提供
- イ 生涯学習情報宅配便（リリエムクラブ）
- ウ 生涯学習指導者登録・紹介（ハロー教授バンク）
- エ 生涯学習推進員活用事業

#### (2) 夏休み子どもイベントの開催

夏休み中の子どもたちに体験的な学習の機会を提供し、健全な心身の育成に努めることを目的に実施した。

- ア 開催日 令和元年8月21日（水）
- イ 会場 日本遺産「山中城跡」
- ウ 内容 講師の説明を聞きながら山中城跡を散策し、身近にある日本遺産に触れた。

#### (3) 三島いきいきカレッジの支援

多様な学習ニーズに応え、講師・スタッフ・受講生が共に協力し、自主的に運営する生涯学習講座として、講師による各種講座を実施した。

- ア 開催期間 令和元年6月～令和2年3月
- イ 場所 三島市民生涯学習センター
- ウ 内容 講座数 28講座  
受講生 594人

### 5 生涯学習推進事業

#### (1) 生涯学習功労者表彰

生涯学習の推進に貢献された方を生涯学習功労者として表彰した。

- ア 表彰日 令和2年2月1日（土）
- イ 会場 三島市民生涯学習センター講義室
- ウ 受彰者 個人5人

#### (2) 生涯学習まつりの開催

市民生涯学習センターを活動の場とする生涯学習課関連団体の学習成果発表と団体相互の交流を図ることを目的に実施した。

- ア 開催日 令和2年2月1日（土）・2日（日）
- イ 会場 三島市民生涯学習センター全館（参加団体 18 団体、来場者 3,997 人）

## 6 家庭教育事業

### (1) (前期) 幼児期の家庭教育セミナー

幼児期における家庭教育の理解やしつけの基礎を学ぶことを目的に実施した。

ア 開設期間 令和元年6月14日(金)～  
令和元年7月12日(金)  
全3回(4.5時間)

イ 会場 三島市民生涯学習センター

ウ 受講者 市内在住で幼児・児童をもつ  
保護者17人

### (2) (後期) 幼児期の家庭教育セミナー

幼児期の子をもつ親の子育て、子育て、親育ちをサポートすることを目的に実施した。

ア 開設期間 令和元年9月6日(金)～  
令和元年9月26日(木)  
全3回(4.5時間)

イ 会場 三島市民生涯学習センター

ウ 受講者 市内在住で幼児・児童をもつ  
保護者21人

### (3) 幼稚園家庭教育講座

開催幼稚園	内容カテゴリー	時間数	参加者数
東幼稚園	健康づくり講座	1	26
西幼稚園	生活に生かせる講座	1.5	5
坂幼稚園	生活に生かせる講座	4	8
大場幼稚園	保護者の仲間作り講座	2.1	25
沢地幼稚園	生活に生かせる講座	1.2	14
しらゆり幼稚園	生活に生かせる講座	3	53
ピーターパン幼稚園	食育講座	2	13

### (4) 小中学校家庭教育学級

開設学校	内容カテゴリー	講座回数	参加者数
東小学校	家庭教育講座等	1	18
西小学校	家庭教育講座等	2	41
南小学校	健康づくり講座	1	13
北小学校	保護者の仲間作り講座等	3	91
錦田小学校	食育講座等	2	31
徳倉小学校	講演会等	2	492
坂小学校	家庭教育講座等	2	112
佐野小学校	食育講座	1	11
中郷小学校	健康づくり講座	1	113
沢地小学校	保護者の仲間作り講座等	5	39
北上小学校	保護者の仲間作り講座	1	80
山田小学校	食育講座等	3	48
長伏小学校	家庭教育講座等	3	380
南中学校	食育講座	1	16
北中学校	保護者の仲間作り講座等	3	108
中郷中学校	保護者の仲間作り講座等	2	19
北上中学校	健康づくり講座	1	10
山田中学校	食育講座等	4	77

## (5) お父さんの子育て講座

家庭教育における父親の役割の重要性・責任を自覚し、子どもとふれ合い、父子の絆を深める機会として実施した。

- ア 開催日 令和元年7月21日(日)  
イ 会場 三島市民生涯学習センター  
ウ 受講者 市内に住む就学前の幼児(4~6歳)30人と保護者(父親27人、母親3人)

## (6) スマイル子育て講座

「夏休み親子クッキング教室」、「親子で楽しむ飾り巻き寿司教室」

親子が共有の体験を持つとともに、円滑な親子関係を築くためのきっかけづくりを目的に本講座を開講した。

- ア 開催日 第1回：令和元年8月8日(木)  
第2回：令和2年1月18日(土)  
イ 会場 三島市民生涯学習センター  
ウ 受講者 市内に住む小学1年生以上の子どもとその保護者、大人24人、子ども26人

## 7 成人教育事業

### (1) みしま教養セミナー

- ア 開催期間  
日本大学関連コース 令和元年7月5日(金)~令和元年8月7日(水)  
順天堂大学関連コース 令和元年10月10日(木)~令和元年10月25日(金)  
一般教養コース 令和元年11月13日(水)  
イ 会場 三島市民生涯学習センター  
ウ 参加者 30歳以上の市内在住・在勤者 288人

開設テーマ	学習方法	回数	参加人数(人)
日本大学関連コース	講義	5	53
順天堂大学関連コース	講義	3	88
一般教養コース	講義	1	147
計		9	288

## 8 女性団体支援事業

市内で活動・学習している女性相互の交流を通して女性の意識向上を図るため、いきいき友の会などの女性団体の自主的な活動を支援するとともに、女性懇話会を開催し、団体間の交流や情報交換の機会を提供している。

また、女性団体支援として、婦人・女性学級を開講し、各種学習会を通して資質向上を図った。

### 婦人・女性学級(2学級)

名称	開設場所・学習テーマ	時間数	学級生数
南婦人学級	開設場所 南地区コミュニティ防災センター	42.5	83
	学習テーマ 「新元号、心新たに出発だ！」		
中央女性学級	開設場所 三島市民生涯学習センターほか	41.5	237
	学習テーマ 『楽しもう 学びと趣味を』~心豊かに輝いて~		

## 9 青少年対策事業

青少年が「誇り」と「責任」と「自覚」をもって社会に役立つたくましい人間に成長できるよう、学校、関係団体、地域住民等の協力を得ながら青少年の健全育成を推進した。

### (1) 青少年問題協議会

市議会、関係行政機関、学識経験者等で構成され、青少年健全育成に関する総合的施策について審議並びに連絡調整を図る青少年問題協議会を年2回開催している。

イ 令和元年度 電話相談受付状況

72 ケース 延べ 1,147 回

ウ 令和元年度 面接相談受付状況

61 ケース 延べ 1,266 回

エ 令和元年度街頭補導活動累計

補導の種類別活動状況

	常時 補導	市街地 補導	地区 補導	計	前年度
実施回数	15	11	110	136	223
参加者数	55	146	554	755	1,155
注意指導数	0	45	10	55	89
(女子数)	0	15	3	18	30

オ 有害図書追放運動

青少年にとって有害な雑誌等の図書が、特に自動販売機から自由に入手できる環境は青少年の健全育成上好ましくないため、三島市においては昭和 57 年の青少年健全育成会発足以来、まず第一に環境浄化が取り上げられ、問題行動の原点となりうる自動販売機の撤去運動が活発に行われてきた。

その結果、平成 20 年 12 月末に 7 台あった自動販売機設置台数は 0 台となり、現在に至っている。

(3) 三島市青少年健全育成会

主な活動

ア 青少年健全育成セミナー

- a 日 時 令和元年 11 月 15 日(金)  
午後 3 時から 5 時 15 分まで
- b 会 場 三島市民生涯学習センター  
講義室
- c 出席者 小中高教育関係者、小中高  
PTA、自治会関係者、  
健全育成団体等 94 人
- d 内 容 健全育成功労表彰 (3 個人 1 団体)  
講演会

演題：「思春期の繊細な心を理解する」

講師：丹澤 潔 氏

(NPO 法人静岡こころのサポートセンター  
一理事長)

イ 静岡県青少年育成会議総会

a 日 時 令和元年 6 月 6 日(木)  
午後 1 時 30 分～4 時 15 分

b 会 場 静岡県青少年会館

ウ 子供・若者育成支援強調月間静岡県大会  
in 牧之原市

a 日 時 令和元年 11 月 23 日(土)  
午前 11 時 30 分  
～午後 4 時

b 会 場 牧之原市相良総合センター  
い～ら

エ 啓発活動

- ・声掛け運動の実践  
令和元年 7 月 11 日(木)、  
9 月 20 日(金)、12 月 13 日(金)
- ・未成年者喫煙防止啓発キャンペーン  
(7 月、11 月)
- ・未成年者飲酒防止街頭キャンペーン  
(4 月)
- ・のぼり旗の掲出等による「青少年の非  
行・被害防止強調月間 (7 月)、「子供・  
若者育成支援強調月間」(11 月)の啓発
- ・全市一斉あいさつ運動  
令和元年 7 月 11 日(木)  
" 9 月 20 日(金)  
" 12 月 13 日(金)

10 青少年教育事業

移り変わりの激しい現代社会の中であって、青少年相互に研鑽と交流を深めるとともに青少年指導者の養成を図り、明るく住みよい郷土づくりの活動が積極的にできるよう努めた。

### (1) 三島市少年の船

三島市内の中学生を対象に、航海体験や洋上研修、研修地での体験学習や交流を通し、たくましさと思いやりのある豊かな情操を養い、心身ともに健全な中学生の育成を図ることを目的に実施した。

**ア 期間** 7月27日(土)～8月2日(金) (6泊7日)

**イ 研修地** 美瑛町、富良野町、旭川市(北海道)

**ウ 参加者** 研修生37人

### (2) 三島市少年少女発明クラブ

児童に科学技術に関する興味、関心を追及できる場を提供し、科学的で独創的な発想に基づく創作活動を通して発明くふうの楽しさと創作する喜びを体得させることにより、創造性豊かな人間形成を図ることを目的に実施した。

**ア 開催期間** 令和元年5月～令和2年3月(全20回)

**イ 会場** 三島市民生涯学習センターほか

**ウ クラブ員** 市内在住の小学4年生～6年生 52人

**エ 指導担当** 三島市少年少女発明クラブ実行委員会

### (3) みしまっ子体験塾

三島の文化、環境、食などの資源を生かしたさまざまな体験活動を通して、郷土に親しみ、健やかな心身を育むとともに、学校や学年の異なる集団活動の中で、仲間づくりや継続して諸活動へ参加する意欲を高めさせることを目的に実施した。

**ア 開催期間** 令和元年5月～令和2年2月(全6回)

### イ 会場

三島市民生涯学習センター、山田川自然の里 ほか

### ウ 参加者

市内在住の小学4年生～6年生 29人

### (4) 学校週5日制対応事業(ジュニアプラザ)

中学生・高校生の校外における活動として休日にさまざまな体験ができる機会を提供することにより、多分野に興味関心を持つきっかけの場とする。また、体験を通して教養を身につけ、同年代の参加者同士の交流を深め、少年育成を図ることを目的として実施した。

### ア 開催期間

令和元年11月(1回)

**イ 会場** 三島市民生涯学習センター

**ウ 内容** 「お絵かきワークショップ」

**エ 受講者** 市内在住又は在学の中学生及び高校生6人

### (5) 中学生リーダー研修(ジュニアリーダー研修)

中学生を対象に、野外学習や宿泊研修等4回の研修を実施し、仲間との連帯意識を高め、自主性と実践性を培い、社会活動へ参加できるリーダーの育成を図った。

### ア 開催期間

令和元年6月～令和元年12月(全4回)

※当初3月に開催予定だった第5回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

### イ 会場

三島市民生涯学習センター、箱根の里 ほか

### ウ 参加者

市内在住又は在学の中学生 38人  
(男21人、女17人)

### エ 指導担当

ジュニアリーダー研修実行委員会

(6) 高校生リーダー研修（アドバンスド ジュニアリーダー研修）

中学生リーダー研修を修了した高校生を対象に、ジュニアリーダー研修でのリーダー活動、ボランティア研修、自然体験活動等を実施し、自己の確立や資質の向上を高め、社会参加活動に自主的・意欲的に取り組むリーダーの育成を図った。

令和元年度参加 12 人（男 8 人、女 4 人）

(7) 青少年指導者養成事業（「三島人」）

平成 29 年度まで、将来、青少年活動の指導者として活躍できる人材を養成するため、中学生、高校生及び成人を対象に、指導者として必要な知識や技術など実践力を養う研修を実施した。プログラムの企画運営及び当日活動指導を行っていた三島人実行委員会の活動休止に伴い、令和元年度も研修を休止し、事業実施を見合わせた。

(8) 令和元年度「三島市中学生の主張」大会

（三島市青少年健全育成会及び三島市校長会との共催事業）

ア 日 時 令和元年 6 月 8 日（土）  
9 時 30 分～12 時 00 分

イ 会 場 三島市民生涯学習センター 講義室

ウ 趣 旨 中学生が自分の考えを広く訴えることにより社会の一員としての自覚を高める契機とするとともに、市民の青少年健全育成への理解と関心を深めてもらう。

エ 人 数

発表者 16 人（市内中学校 8 校から各 2 人の代表・応募数 1,153 人）、来場者 90 人

オ 内 容

本人による意見の発表を行った。また、発表作品すべてを「わたしの主張 2019」静岡県大会（磐田市で開催）の出場作品候補として推薦した。

(9) 成人式

市内の新成人者を招き、成人への仲間入りを祝して記念式典を実施した。

式典第 2 部では、成人式実行委員会が企画する「成人式、あなたの番です。～平成から令和へ～」を上映した。

ア 開催日時

令和 2 年 1 月 12 日（日） 午後 2 時開式

イ 会 場 三島市民体育館 競技場

ウ 対象者

平成 11 年 4 月 2 日～平成 12 年 4 月 1 日に生まれた者 1,056 人（男 555 人、女 501 人）（令和元年 11 月 30 日現在）

エ 出席者 836 人（対象者の 79.1%）

※住民登録外参加者を含む。

(10) 青少年団体の育成

社会教育団体へ、活動の活性化を図るための指導や助言を行った。

団 体 名	団体の概要	
ボーイスカウト 三島地区	代 表 者	土山 和雅
	対 象	小・中・高 大・一般
	下部組織	6 団
	人 員	432 人
ガールスカウト 三島地区連絡協 議会	代 表 者	宍倉 睦美
	対 象	小・中・高 大・一般
	下部組織	2 団
	人 員	69 人
三島市青年団体 連絡協議会	代 表 者	松本 周
	対 象	各種青年団体
	下部組織	2 団体
	人 員	13 人

(11) 二市青年教育交流協議会

三島市、沼津市の 2 市の青年教育の振興を図り、青年リーダーの養成等の充実を図ることを目的に情報交換を行った。

(12) 青年団体（OWL（オウル））

青年相互の交流のほか、社会貢献活動（各種のボランティア活動、環境保全活動、青少年の健全育成活動）を積極的に行った。

令和元年度会員 7 人

### (13) 青年団体（和倶楽部）

陶芸を中心に、着付けや茶道など「和」の講座を開講し活動した。令和元年度会員 6人

### (14) 青年教養講座の開設（ヤングプラザ）

各種講座の学習を通して教養を身につけるとともに、心身のバランスがとれた青年の育成を図った。

#### ア 開催期間

令和元年 11 月～令和 2 年 2 月（2 講座）

#### イ 会場

三島市民生涯学習センターほか

#### ウ 内容

陶器作り（6 回）、ラテアート講座

#### エ 受講者

市内に在住又は在勤の 18 歳から 35 歳  
くらいまでの人 計 36 人

### (15) 三島若者元気塾の開設

平成 30 年度まで、将来の三島を担う元気なリーダー・人材を育成するため、青年を対象に講座を開講した。令和元年度においても塾生の参加を募ったが受講人数が開催人数に満たなかったため、令和元年度は事業実施を見合わせた。

## 11 児童センター事業

児童に健全な遊び場・安全な居場所を提供する児童館として市民生涯学習センター内に児童センターを設置し、遊戯室・軽運動室等で、児童の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に各種事業を実施した。また、多目的ホールや研修室等でリトミック、書き方、お菓子づくり等の各講座を開設した。

### (1) キディプラザ（幼児・小学生対象の継続講座）

ア 開催講座 2 講座 各 5 回

イ 会場 三島市民生涯学習センター

ウ 参加者 68 人

### (2) 児童センター例月事業

ア 年間開催数 6 回

イ 会場 三島市民生涯学習センター

ウ 参加者 1,067 人

### (3) すくすく広場（市内在住の満 1 歳以上の未就園児とその保護者を対象とした遊び会）

ア 児童センター 年間回数 28 回  
参加組数 523 組  
参加者数 1035 人

イ 中郷公民館 年間回数 10 回  
参加組数 77 組  
参加者数 154 人

ウ 北上公民館 年間回数 10 回  
参加組数 78 組  
参加者数 158 人

エ 錦田公民館 年間回数 10 回  
参加組数 68 組  
参加者数 133 人



## 12 学校・家庭・地域連携協力推進事業

### (1) 地域学校協働本部事業

学校を核とした地域づくりを目指すため、公立小中学校に地域学校協働本部を設置し、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行うための橋渡しをする組織である「地域学校協働本部実行委員会」を中心に、地域住民が学校支援ボランティアとして学校支援活動に取り組む体制づくりを推進している。

三島市では、平成 21 年度に錦田中学校で事業が開始されて以降、平成 26 年度に 5 校、平成 27 年度に 12 校で事業が開始された。平成 28 年度に残る 3 校でも事業が開始され、市内の全公立小中学校（小学校 14 校、中学校 7 校）での地域学校協働本部設置及び学校支援活動の実施が実現した。

#### 活動内容

授業の補助(学習作業の支援)、放課後の学習支援、授業の講師(職業講話)、学校内の整備、環境整備(樹木の剪定、花壇の整備等)、学校行事への協力活動、登下校の見守り(スクールガード)、本の読み聞かせ など

※各校の状況に応じた活動をそれぞれ実施

この地域学校協働本部事業の枠組みの中で、大学生や地域住民等の人材を学習支援員として活用した放課後学習支援の取組として『みしま寺子屋事業』を実施している。

(静岡県「しずおか寺子屋」創出事業の委託事業として平成 29 年度から 3 か年の実施)

[令和元年度の実施状況]

- ・対象校・学年・教科、実施回数  
徳倉小学校(3 年生、算数)、20 回  
北上中学校(1~3 年生、数学・英語)、26 回
- ・学習支援員 日本大学国際関係学部ほかの大学生、地域住民ボランティア

### (2) 家庭教育支援事業

すべての保護者が安心して家庭教育を行えるよう、平成 27 年度から家庭教育支援員

(通称「家庭教育アドバイザー」)を配置し、小中学校等において、保護者への学習機会の提供(「講座」…県教委作成家庭教育ワークショップを活用したグループトーク)や相談対応等の家庭教育支援活動を実施している。

[令和元年度の実施状況]

- ・家庭教育アドバイザー 3 人(元小中学校教員)、家庭教育サポーター 6 人  
※チームとなって活動
- ・実施場所(機会)…全公立小中学校、家庭教育学級、三P連会議、入学説明会、幼稚園等
- ・実施回数…講座 15 回、相談 11 回、相談・助言 8 回、親学講座 9 回